



暁のラブレター aiko

暁が僕らに訪れるころ、
気持ちはまた闇に埋もれていく

どれだけ面と向かっても言えないこと。言えないからがんばって文字にしたのに結局伝えられないこと。何十年も前には考えもしなかったくらい思いが伝えやすくなっているのに、好きな人に気持ちをなかなか伝えられない。そんな誰もが感じるもどかしさを収めた1枚のCDがある。今回紹介する aiko の『暁のラブレター』だ。

aiko と言えば「花火」や「カブトムシ」といったヒット曲を持つ国民的シンガーソングライターである。発表した曲のほとんどがラブソングで、十数年もの間ひたすら異性との関係を歌ってきた女性だ。

そんな彼女の作品のひとつ『暁のラブレター』には、夜更かしして書いたラブレターは恥ずかしくて出せるものではないけれど、自分でも気付かなかった正直な気持ちがそこには綴られているものだという意味が込められている。

封を閉じれないラブレターの様
言えないまま溢れてゆく言葉は闇に埋もれ
(Track12 「風招き」)

この『暁のラブレター』というタイトルに込められた意味は最終的にこのフレーズにたどり着く。正直な気持ちを頭に浮かべても、文字にしても、結局は伝えられずに夜の闇に埋もれていってしまう。そしてまた何度も同じ夜を重ねていく。しかし、そのもどかしさだけを込めて aiko はこのアルバムの幕を下ろしたわけではない。

ここには2人がいる
ありふれた様に見えて特別だって事
(Track13 「天の川」)

そこに2人がいるという事実だけでいいと、最後の曲「天の川」でしっとりと歌い上げこのアルバムは幕を下ろす。そう、私たちには必ずしも言葉が必要というわけではない。正直な気持ちで向き合うだけでいい。それだけでいい。

この作品ではそんな彼女の感情の揺らぎが、「aiko 節」とも言える独特で絶妙な旋律で紡がれている。秋の夜長にこの作品を聴いて、大切な人を思いながら夜を越えてみてはどうだろうか。(勿忘)

『暁のラブレター』

aiko

- | | |
|------------|---------------|
| 01: 熱 | 08: 帽子と水着と水平線 |
| 02: 彼の落書き | 09: すべての夜 |
| 03: アンドロメダ | 10: えりあし |
| 04: ふれていたい | 11: 白い服黒い服 |
| 05: 夢のダンス | 12: 風招き |
| 06: 蝶々結び | 13: 天の川 |
| 07: ライン | |



定価: 2,913 円 (税抜)
品番: PCCA-01528
レーベル: ポニーキャニオン

はみだし
すてーじ

夏になると、aikoを思い出しますよね？
⇒私は秋に思い出しますね。

(農・2 ホリリン・モンロー)
(この作品とか『秋そばにいるよ』とかもいいですよ♪;編)